

# 成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

取手文化倶楽部 AFTER SCHOOL MUSICAL

所在地	茨城県取手市	設立年	2021年
運営主体	取手文化倶楽部 AFTER SCHOOL MUSICAL		
事業目標	生徒たちに音楽や踊り、演技などミュージカルを通して幅広く総合芸術に向き合う機会を与え、心身共に成長する姿を地域住民に披露することで、地元や地域住民との繋がりを保ち続ける長期的な取り組み		
きっかけ	構成員の1人が市内の小中学校で歌唱指導をしている中で、教員から学校行事に追われていて、専門的な知識が必要な音楽の指導が困難であると相談を受けていた。特に市内の中学校には吹奏楽部はあるものの、合唱部がない為歌う事が好きな子、興味がある子を受け入れる場が無い。コロナ禍で音楽の授業も制限が有り充分な音楽指導が出来ない。そこで音楽や演劇の指導、他校生徒との交流も出来る場の必要性を感じてこの倶楽部の創設に至った		
団体・組織等の連携			
活動場所	取手福祉会館		
活動概要	定期的な取り組みを実施しようとしたが、コロナ禍の状況で使用場所の閉館等、計画通りに進まず、その状態を見て何とかしなければという思いを強く持った有志が今後について月2回程度の話し合いを持った。これによりNPO法人化計画が動き出した。		

## ○本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

コロナウィルス感染拡大により、単発のワークショップになってしまったが定期的な開催を望む声が、参加者より多数頂いた。また、現在当市内中学校には、合唱部・ダンス部・演劇部がなく、需要があることが分かった。この事業を行うことにより、NPO法人を立ち上げようという有志が集まり継続的事业にしていこうと現在設立準備中。22年3月上旬申請予定。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、政府や県から緊急事態宣言や蔓延防止措置の発令が出てしまい活動が制限された中でしたが、のびのびと活動できるように広い部屋(定員の1/5)で活動できるようにした。また、生徒一人一人とキッチンと向き合うことの出来る技量を持った指導者が指導に当たった。

## ○運営上の工夫

運営上、工夫している点を記載する。

教育委員会を通じて小中学校全生徒、高等学校には、各校50部ずつ募集チラシを配布した。市の広報紙にも募集記事を掲載した。構成メンバー全員で専門性の高い、実績のある指導者の確保に努めた。指導者選定には、構成メンバーによるコーディネートで、多岐にわたる人材を配置した。公益財団法人取手市文化事業団の職員にもメンバーに加入頂き、会場利用を円滑にできるよう調整頂いた。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。教育委員会との連携を深め、生徒募集のみならず、教員OBとの連携を取りたい。市内の中高一貫校を有する大学指導者からも地域部活動の活動を要望されており、今後連携して活動してゆきたい。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

参加者に行ったアンケート結果により、どのようなニーズがあるか得られたが、学校の教員、保護者のニーズも幅広く集めて、把握してゆきたい。例えば、活動の場を学校に求め、指導者を派遣する形をとりたい。そのために教育委員会や学校と連携を取っていきたい。単独校での活動は難しい状況なので、複数校での取り組みとしたい。内容は、合唱、ダンス(バレエ含む)、演劇の各分野を育て3部門を融合するミュージカルを上演することを目標としたい。その為にはNPO法人化し継続的に活動する事が期待される。

**※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。**

**※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。**

参加者 (予定人数)	小学校5年生～大学生 30人
募集方法	教育委員会を通じて小中学校全員にチラシ配布、ポスター掲示、市の広報紙や市のホームページ、地域新聞への募集記事掲載等
指導者	教員OB 2名、連携団体からの実演家4名他、専門性が高く、指導実績のある指導者
移動手段	公共交通機関及び保護者による送迎(学校外で実施する場合)
活動費用	3,000円/月 施設使用料・指導者謝金・事務費・委託費・楽器使用料・リノリウム使用料他
スケジュール	月4回2時間の稽古、長期休業期間中のワークショップ、年1回発表会、施設、病院慰問等
保険加入等	保険種別 ボランティア保険 指導者も含め全員加入

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照

掲載URL

([https://www.bunka.go.jp/shinsei\\_boshu/kobo/pdf/92801101\\_09.pdf](https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf))

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子（写真添付）】

